

全国の看護師を応援！

## CO-OPナース

医療福祉生協連の看護師求人サイト「CO-OP ナース」に掲載されている病院やそこに勤務する看護師の仕事を紹介します。



左から3番目が名嘉さん

## 新築移転決まる！ 地域密着型の医療をさらにすすめます

沖縄医療生協 中部協同病院 外来主任 名嘉 清美

中部協同病院は、沖縄県中部の沖縄市に位置し、エイサーなど伝統文化が盛んな地域です。病床数114床（一般46床、地域包括ケア68床）の在宅支援病院です。今年、開院30周年を迎え、現在新病院建設をすすめています。2018年12月に新築移転を計画中です。

訪問診療においては、2017年1月現在、105人の患者さんの在宅療養や看取りを支援している。訪問診療にかかわる患者さんも70歳から100歳代と高齢です。認知症やがん末期、人生の終末期を在宅で迎えたいと考える患者さんや家族を、訪問診療担当医や研修医、看護師でケアをおこなっています。看取りにおいても、看取りケアの教育やカンファレンスの実施、グリーフケアをおこない、患者さんや家族、施設職員の要望にこたえられるように努めています。

意識がもうろうとうとしていたある患者さんは、自宅に帰ると自ら話をしたり、家族、親戚が本人を囲んで大好きだったお酒を唇につけたり、食事をしたり、歌を歌ったりという場面が見られるように

なりました。また、看取りの場面では、家族がひとつになり、穏やかに過ごす安らかな場所、死を受容するための準備期間となり、「自宅でもよかった」との声が聞かれます。

毎月急性期病院から地域医療の研修にきてくださる研修医の先生たちは、研修終了後、看護師、家族と一緒にエンゼルケアをしたことや、患者さんのエピソードを報告してくれます。ある研修医は、追悼の意を込めギターを弾いてくれました。これまでの急性期医療とは異なる在宅医療を新鮮に受け止め、人間の生命倫理を改めて考えさせられる報告会になっており、感銘を受けています。

地域包括ケアが叫ばれる中、地域密着型の医療やケアを展開していくために他事業所（病院や訪問看護）からの訪問診療の相談もあり、今後も在宅ケアへの期待は高まる一方です。これからも地域医療に貢献できるようがんばっていききたいと思います。



ご家族に囲まれて、「自宅でもよかった」

※亡くなった方の死後の処置のこと

医療福祉生協連の看護師求人サイト

## CO-OPナース

<http://nurse-coop.jp/>



北は北海道から南は沖縄まで42都道府県にある、110の医療福祉生協。75の病院、337の診療所、187の訪問看護ステーション、28の老人保健施設を展開し、約1万2000人の看護職員が勤めています(2016年3月末現在)。全国ネットワークを生かした豊富な求人サイトを、完全無料で利用できます。

このサイトに載っていない事業所でも、気軽にお問い合わせください。